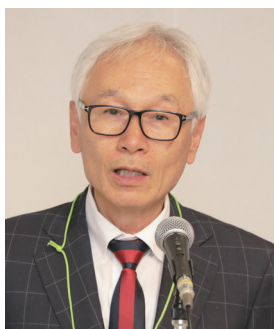


特集 **とうきょうの計量**

No.309

一般社団法人
東京都計量協会東京都江東区新砂3-3-41(〒136-0075) 東京都計量検定所庁舎2階
電話 03-6666-8960/FAX 03-6666-8970
URL: <https://www.tokei-kyo.or.jp>

(一社) 東京都計量協会令和8年度定時総会のもよう。

小川弘会長
和つくりが急
ピッチで進む
ものと考えら
れる。日本の
産業界はロシ

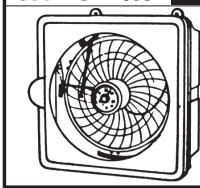
◆令和8年度定時総会の開催

令和8年6月26日(金)
谷において、会員115
名(委任状を含む)の出
席を得て開催した。一般社団法人東京都計
量協会は、令和8年度定
時総会を6月26日(金)
ホテルグランドヒル市ヶ
谷で開催ア・ウクライナ戦争を契
機に全ての資源が高騰、
原材料・部品の不足、為
替変動など厳しい事業環
境を余儀なくされてき
た。一方でAI、DX、
GX関連の設備投資が増
えるなど、新たな成長機
会も生まれてきている。
変化をチャンスとして活
かす視点を含め、会員の

(一社)東京都計量協会(都計協)

皆様としっかり議論を深
め、企業経営、協会運営
に努めてまいります。こうした中だが、都計
協の設立目的である『正
確な計量を通して都民の
安心・安全に貢献する』
を達成するため、これま
で行ってきた計量思想の普及・啓発事業、検査事
業等を令和8年度におい
ても確実に実施してい
く。会員、ご列席の皆様
のなご一層のご支援・協
力をお願い申し上げた
い。旨の開会挨拶が行わ
れた。引き続き小川会長を議
長に選出し、また議事録
署名人に横山守二氏(東
亜計器製作所)、三田村
義崇氏(日本計
量器工業)を選
任し議事に入っ
た。第1号議案
「令和7年度事
業報告書」の説
明を堀井専務理

指示計 記録計 調節計

www.sanwakeiki.com
**温度・圧力
三和計器**
TEL.03(5984)3362(代)

蓮井康二副会長



坂元英治監事



「海洋プラスチック問題：どう測るか、観測・採集・回収の現場から」をテーマに講演される東海正氏。

講師の東京海洋大学
名誉教授・農学博士
東海正氏。

懇親会のもよう。開会挨拶を述べる小川会長。

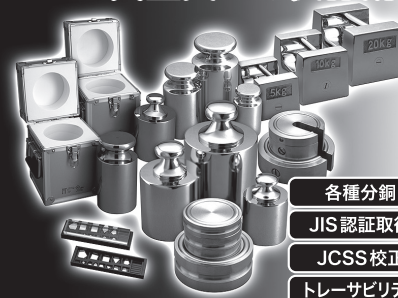
乾杯のご発声をする一般社
団法人日本計量振興協会
宮沢敬治専務理事。次いで、令和8年度事
業計画書及び収支予算書
の説明が行われ、全ての
審議を終了した。総会を終了した。
定時総会終了後の15時
30分から講演会を開催し
た。
テーマ「海洋プラスチック
問題：どう測るか、観
測・採集・回収の現場か
ら」
講師：東京海洋大学生産システム学研究室名誉教
授東海正様
16時45分からは来賓、
講演会講師の先生を交
え、会員交流を図るため
の懇親パーティーを開催し
た。懇親パーティにて閉会挨拶
をする横山守二副会長。

懇親会のもよう。



懇親会のもよう。

株式会社 大正天びん製作所



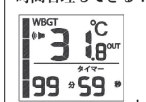
分銅のJIS認証取得!

- ▶ 円筒、板状、円盤、枕型、特殊分銅など各種用意
- ▶ 品質が保証されたJIS規格適合分銅はこれからのスタンダード
- ▶ JCSS登録事業者の校正によるJCSS標準分銅化
- ▶ JIS規格(JIS B 7609)をベースに国家標準と国際標準へのトレーサビリティ体制を確立



0296-43-7021

株式会社 大正天びん製作所

〒304-0031 茨城県下妻市高道祖4219-72 [FAX] 0296-43-8150
[E-mail] info@taisho-balance.co.jp [URL] <http://www.taisho-balance.co.jp>JISマーク付き円筒分銅始めました。
お気軽にご相談下さい。タイマーで
時間管理もできる!作業現場の
安全管理に最適!日本生気象学会
日常生活における熱中症予防指針を
4段階で表示タイマー付き
黒球型熱中症計
CRB-10
JIS B 7922:2023 クラス2 適合品

株式会社 クレセル

TEL: 0475-88-3870

FAX: 0475-88-3874

<https://www.crecler.jp>

PEAK PEAK PEAK

スケール
ルーベ7x

ルーベ30x

アナスタグマ
ルーベ4xスケール
ルーベ10x

ライト・ルーベ 10x

東海産業株式会社
東京都文京区湯島3-16-13
TEL 03(3834) 5711

カタログ 切手600円



東京大会の会場となる「明治記念館」。



適正計量管理主任者養成講習会のようす。

(前ページから)

◆関ブロ・東京大会の開催

関東甲信越地域の計量関係者が抱える計量に係る諸問題を討議するため、毎年、各都県持ち回りで大会を開催してきているが、令和8年度は次のとおり東京で開催する。

幹事役となる都計協、東京計量士会で実行委員会を組織し準備を行っており、現在、参加者を募集中である。ご関心の向きは各地区計量協会事務局までお問い合わせ願います。

開催日：令和8年10月14日

感謝状贈呈式(16時～16時50分)

第一部

協議会(13時30分～15時50分)

協議議題

①一般計量士の確保・育成について

②一般計量士国家試験合格者、計量教習修了者の実務経験の実態

③「計量士の日」設定について

第二部

感謝状贈呈式(16時～16時50分)

第三部 講演会：テーマ「世界に誇る日本の皇室」

講師：皇室コメンテーター 高清水有子様

参加費：お一人2万000円

第四部 親善交流パーティ(18時～20時)

◆計量管理研究部会の活動

第2回運営会議の開催

計量管理研究部会では令和8年度第2回運営会議を6月19日(金)計量検定所会議室で開催した。会議では6月12日に開催した適正主任者養成講習会の開催報告、計量管理強調月間「標語募

◆適正計量管理主任者養成講習会の開催

計量管理研究部会では東京計量検定所の協力を得て例年、適正計量管理事業者主任者養成講習会を開催しているが、令和8年度では次の通り開催した。また講習会終了時には東京計量検定所が実施した筆記試験で一

都計協団体委員の活動

東京計量士会

令和7年度 第2回理事會を開催

【日時】令和8年5月15日(金)午後1時00分～2時30分

【場所】東京国際フォーラムガラス棟4階「G407号室」

【出席者】15名

【議題】

1. 令和8年度第1回理事會(4/4)議事録確認について

2. 出前計量教室の動向について

3. 日計振決算理事会(4/23)報告

4. 関ブロ第1回代表者會議(4/24)報告

5. 各部報告

6. 本日の第27回定時総会運営担当者決定について

7. 第27回定時総会議案書のミソリ等訂正について

8. その他

【概要】敷地面積40万7000㎡、延床面積51万7000㎡、「青果棟5街区」、「水産卸棟6街区」、「水産卸棟と管理棟7街区」の3街区

【参加者】20名

【内容】市場の概要・しくみについて研修見学

豊洲市場協会・磯崎専務理事と東京都計量協、永井理事の案内で進出した。

【日時】令和8年6月5日(金)9時30分～11時30分

【場所】東京都豊洲市場一般社団法人豊洲市場協会

適正計量管理事業所として、全657事業所のはかり(特定計量器)を一括管理している。

日本硝子計量器工業共同組合

令和7年度 第75回通常総会を開催

第75回通常総会を開催。議案1～8すべて承認され、役員改選も行われた。総会終了後懇親会を開催。

【日時】令和8年4月24日(金)15時30分

【場所】鉄鋼会館

東京都計量証明事業協会

令和7年度事業報告書及び決算報告(承認)

令和8年度事業計画及び収支予算(承認)

会長表彰5社

役員の改選



第1回研修見学会は日本電気計器検定所(JEMIC)と株式会社サトーを訪ねた。写真は株式会社サトー本社前にて撮影。

(一社)計量器コンサルタント協会

令和8年度定時総会開催報告

(一社)計量器コンサルタント協会は、令和8年度の定時総会をリモートで開催した。

今回は、会場や日程の都合及び来賓各位のスケジュール等の関係で、出席は役員理事のみとし、開催の模様はTeamsにて中継を行った。各議案については事前に議案書を配布し議決権の行使をお願いしていた。総会員数54名に対し36名の可決票が届き各議案は承認された。議案書及び議事録については、追って協会のHPにアップする予定だ。

▽計量器コンサルタント協会HP：https://keiconkyo.org/

6月18日(木)に研修見学会を開催した。今回は、(一社)東京都計量協会及び東京計量士会にも参加を呼びかけ、25名の参加を得て行われた。一行はJR田町駅に集合し最初の見学先の「日本電気計器検定所」を訪ねた。日本電気計器検定所は、JEMICの略称で呼ばれ国内の電気メーターの検定を行う民間法人だ。かつては国に準ずる機関として設立されたが行政改革の一環として一部改正に伴い民間法人となった。一行は4階の会議室でJEMICの紹介ビデオを視聴後、3班に分かれて実際の検定検査工程を見学した。電気メーターの検定試験は、構造等外見検査、絶縁抵抗試験、潜動試験、始動試験、計量・器差試験と50項目以上の構造に関する試験を行い合格したメーターに封印を行うまでが流れだが、一般家庭用で約8000万台が設置されており、全てを試験することは物理的に不可能だ。そこで、同じメーカーで同じ型式の代表する電気メーターを試験することで合格した電気メーターに型式承認番号を付与して試験を一部省略している。この型式承認制度は、計量法にも定められており、はかりやガソリンメーターなどにも使われている。一行は、電気計器の単独試験室、変成器試験室と検定検査の現場を回り、聞きなれない用語や見慣れない装置などの説明を興味深く聞き入っていた。会議室



計量器コンサルタント協会HPは上記QRコードより。

第1回研修見学会を開催

6月18日(木)に研修見学会を開催した。今回は、(一社)東京都計量協会及び東京計量士会にも参加を呼びかけ、25名の参加を得て行われた。一行はJR田町駅に集合し最初の見学先の「日本電気計器検定所」を訪ねた。日本電気計器検定所は、JEMICの略称で呼ばれ国内の電気メーターの検定を行う民間法人だ。かつては国に準ずる機関として設立されたが行政改革の一環として一部改正に伴い民間法人となった。一行は4階の会議室でJEMICの紹介ビデオを視聴後、3班に分かれて実際の検定検査工程を見学した。電気メーターの検定試験は、構造等外見検査、絶縁抵抗試験、潜動試験、始動試験、計量・器差試験と50項目以上の構造に関する試験を行い合格したメーターに封印を行うまでが流れだが、一般家庭用で約8000万台が設置されており、全てを試験することは物理的に不可能だ。そこで、同じメーカーで同じ型式の代表する電気メーターを試験することで合格した電気メーターに型式承認番号を付与して試験を一部省略している。この型式承認制度は、計量法にも定められており、はかりやガソリンメーターなどにも使われている。一行は、電気計器の単独試験室、変成器試験室と検定検査の現場を回り、聞きなれない用語や見慣れない装置などの説明を興味深く聞き入っていた。会議室

に戻り質疑応答を終えた後、次の見学先(株)サトーに向けて検定所を後にした。

(株)サトーは「あらゆるものを情報化して、社会のうごきを最適化する」を合言葉に製造や物流、小売りの現場に機器やシステム提案を行っている。代表的システムは「FOOD-Pro」と呼ばれる食品の製造工程をトータル管理する。自社工場だけでなく取引先や海外工場、外部倉庫等をシームレスにつなぎ、食の安心・安全を支援している。一行は、具体的な導入事例等プレゼンを受け4班に分かれて、本社内のショールームを見学した。ショールームは、各ブースが物流や小売りのシーンを再現しており、原材料の仕入れから品出し、製造、完成、出荷迄を体験することが出来る。一枚のラベルから全ての管理につながるシステムを体験し、その利便性や安全性、先進性に、各自興味深く見入っていた。中には予定時間内に全てのブースを見る事が出来ず残念がる班もありその関心ぶりが伺えた。

一行は、(株)サトーの事務所を後にして懇親会場へと歩を進め、美味しい料理とお酒に舌鼓を打ち本日の見学会を締めくくった。